

市議会 いせさき

平成26年1月1日 No.45

平成26年1月1日 ◆◆◆市議会いせさき

寄附禁止のルールを守りましょう

- ◆政治家は、選挙区内の人などに寄附をすることは禁止されています。
- ◆第三者が政治家を名義人とし、選挙区内の人たちに対する寄附をすることも禁止されています。
- ◆政治家の後援団体が選挙区内の人たちに対し行う寄附も、同様に禁止されています。
- ◆選挙人も候補者等に対し、寄附を求めることはできません。

次のようなものが禁止の対象です



矢島征司氏

群馬県功労者表彰

矢島征司氏は、平成3年5月に市議会議員に初当選され、6期22年にわたる議長を務め、市議会の要職を歴任されました。

地方自治の振興に尽力し、県民生活の向上に寄与した功労により、このたび群馬県知事から功労者として表彰されました。

これに伴い、11月29日定例会開会冒頭の本会議場において、議長から報告があり栄誉をたたえました。

平成25年視察来訪

特色ある施策や先進的な事例を視察するため、本市の事業を視察に訪れました。

1月30日 高知県高知市議会
2月5日 鳥取県鳥取市議会
2月19日 千葉県船橋市議会
5月14日 茨城県結城市議会
6月21日 群馬県太田市議会
7月4日 佐賀県嬉野市議会
7月25日 埼玉県上尾市議会
8月23日 埼玉県寄居町議会
9月6日 群馬県渋川市議会
10月7日 山梨県甲斐市議会
10月8日 愛知県一宮市議会
10月29日 神奈川県藤沢市議会
10月29日 神奈川県南足柄市議会

主な調査事項

- ▼小学校における全学年教科分担制
- ▼小中学校における学力向上の取り組み
- ▼中高一貫教育
- ▼市庁舎の耐震補強及び大規模改修
- ▼健康づくり事業の取り組み
- ▼公立小中学校エアコン設置
- ▼伊勢崎市民病院の経営健全化計画



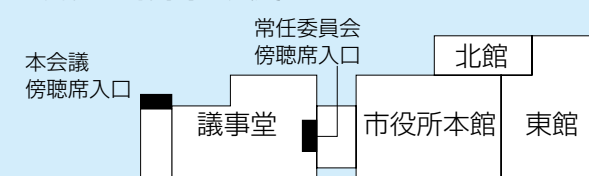
議事堂

議会を傍聴しましょう

議会の本会議及び常任委員会（総務委員会、文教福祉委員会、経済市民委員会、建設水道委員会）は、傍聴することができます。

本会議は議場で、常任委員会は委員会室で行われ、開会は、午前10時からの予定です。

なお、日程、時間等は変更になることがあります。



次回定例会日程表（予定）

2月25日（火）本会議
28日（金）本会議
3月 4日（火）本会議（一般質問）
5日（水）本会議（一般質問）
6日（木）予算特別委員会
7日（金）予算特別委員会
10日（月）総務委員会
11日（火）文教福祉委員会
12日（水）経済市民委員会
14日（金）建設水道委員会
20日（木）本会議

新年のごあいさつ



議長 小松 光一

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに新春を迎えることと、心からお慶び申し上げます。また、日頃から市議会に對しまして、特段の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は、富岡製糸場と絹産業遺産群の構成資産である国史跡の田島弥平旧宅の世界遺産登録に向け、大きな期待が寄せられております。

市議会といたしましても、地域における魅力あるまちづくりの実現と市民の安心安全な生活環境の整備のため、今後ともより一層の努力を重ねてまいりますので、ご協力をお願いします。

どうぞ本年も変わらぬ御支援、御鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

第5回定例会

11月29日～12月17日(19日間)

定例会の概要	2
主な議案の概要	2
一般質問	3～9
常任委員会審査	10
議案等審議結果	11
表彰	12

第5回 定例会の概要

今定例会の市長提出議案は、条例関係13件、平成25年度補正予算9件、その他6件の、合わせて28件です。（審議結果は、11ページに掲載）

11月29日
本会議が開かれ、第5回定例会の会期を12月17日までの19日間と決め、会議録署名議員の指名を行いました。

次に、伊勢崎市市税条例の一部を改正する条例案など28議案について、市長から提案理由の説明があり、質疑が行われた後、所管の各常任委員会に審査を付託しました。

12月2・3日
一般質問が行われ、14人の議員が質問し、市長や教育長、所管の部長などから答弁がありました。（一般質問の概要は、3ページから掲載）

12月5日
総務委員会が開かれ、付託された4議案について審査をした後、所管事務調査が行われました。

12月6日
文教福祉委員会が開かれ、付託された9議案について審査をした後、所管事務調査が行われました。

12月9日
経済市民委員会が開かれ、付託され

た4議案について審査をした後、所管事務調査が行われました。

12月10日
建設水道委員会が開かれ、付託された11議案について審査が行われました。（各常任委員会の審査の概要は、10ページに掲載）

12月17日
本会議が開かれ、各常任委員長から付託された議案について報告があり、討論が行われた後、採決の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

主な議案の概要

伊勢崎市立学校施設使用条例等の一部を改正する条例案

消費税法及び地方税法の一部改正により、平成26年4月1日から消費税率が地方消費税と合わせて8％に引き上げられることに伴い、伊勢崎市立学校施設使用条例を初め、32件の条例について消費税分の転嫁による使用料等の改正を行い、あわせて条文の整備を図るものです。

伊勢崎市立学校設置条例等の一部を改正する等の条例案

伊勢崎市立伊勢崎高等学校を廃止することに伴い、伊勢崎市立学校設置条例、伊勢崎市立学校施設使用条例及び伊勢崎市暴力団排除条例の3条例について、高等学校に係る文字を削るとともに、伊勢崎市立伊勢崎高等学校教職員員の給与等に関する条例及び伊勢崎市立伊勢崎高等学校受検料等に関する

条例の2条例を廃止するものです。
伊勢崎市社会教育委員条例の一部を改正する条例案

社会教育法の一部改正に伴い、伊勢崎市社会教育委員の委嘱の基準を定めるものです。

伊勢崎市地域交流センター赤石薬舎条例案

市民の生涯学習の場を提供することにより、地域住民と児童生徒がともに学び交流する機会の充実及び社会教育の進展を図るため、赤石薬舎を新たに地域交流センター赤石薬舎として設置し、管理することに伴い、制定の必要を認めたものです。

伊勢崎市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案

地方税法の一部改正により、延滞金の割合の特例について、地方税の見直しに合わせ、引き下げを行うものです。
伊勢崎市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案

道路法及び道路法施行令の一部改正により国の行う事業の全ての占用料を徴収しなくなったことに伴い、改正の必要を認めたものです。

伊勢崎市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例案

集合住宅の佐波処理区公共下水道事業受益者負担金の賦課における単位数の上限を20単位に設定することに伴い、改正の必要を認めたものです。
伊勢崎市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例案

老朽化により赤堀西部地区農業集落

排水処理施設を廃止し、処理区域を公共下水道に編入することに伴い、改正の必要を認めたものです。

伊勢崎都市計画事業中央土地区画整理事業施行規程を廃止する条例案

伊勢崎都市計画事業中央土地区画整理事業の完了に伴い、廃止の必要を認めたものです。

伊勢崎市土地開発公社の解散について

公有地の拡大の推進に関する法律第22条第1項の規定により伊勢崎市土地開発公社の解散について議会の議決を求めるものです。

赤堀中学校校舎・体育館建設工事請負契約の締結について

・工事場所 西久保町二丁目地内
・請負代金額 18億2304万円
・請負者 柏井・トーモ・神澤赤堀中学校校舎・体育館建設工事特定建設工事共同企業体

赤堀中学校校舎・体育館建設電気設備工事請負契約の締結について

・工事場所 西久保町二丁目地内
・請負代金額 2億88万円
・請負者 マルフク・伊勢崎電設赤堀中学校校舎・体育館建設電気設備工事特定建設工事共同企業体

公の施設の指定管理者の指定について

・指定管理者に管理を行わせる施設 伊勢崎市養護老人ホーム
・指定管理者に指定するもの 社会福祉法人和会
・指定する期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

フッ素塗布及びフッ化物洗口について

伊勢崎クラブ
矢島 征司

質問 群馬県は、本年策定した群馬県健康増進計画の中で、子供に対するフッ素塗布やフッ化物洗口について数値目標を立て、市町村も取り組むべきとしました。フッ素に対しては、その有効性について肯定的意見と否定的意見があります。したがって、本市がこれらを実施する場合は、保護者に対してフッ素の有効性だけでなく、リスク等の情報提供を行った上で、判断をし

東毛広域幹線道路開通に伴う周辺道路整備について

伊勢崎クラブ
須永 武久

質問 東毛広域幹線道路は、県央と東毛の各都市を結ぶ重要な路線であり、沿線の産業立地、物流の効率化、生活圏の拡大など、地域の発展に果たす役割は極めて大きいものがあります。
現在、事業中の玉村伊勢崎バイパスが、平成26年9月に暫定2車線で開通予定であり、これにより全線開通する見込みです。市では、伊勢崎宮郷工業団地の開発を初め、周辺の発展を図る

てもらわなければならないと思います。

そこで、乳幼児及び児童生徒に対するフッ素塗布やフッ化物洗口についての現状をお聞きます。また、本市の見解と今後の取り組みについてもお伺いします。

答弁 本市では1歳6カ月児健康診査と2歳3カ月児歯科健康診査、3歳児健康診査において歯科診察と歯科相談を行い、保護者から希望をいただいたお子さんにフッ素塗布を実施しています。その際、適切な量での塗布で安全であることや、塗布後の注意事項等を説明し、あわせて生活習慣や食習慣も大切であることも指導しています。

また、各学校では、健康診断等の保健管理や児童生徒の発達段階に応じた

ものと思われます。

そこで、沿線の道路整備が急務となることから、市道（境）2級24号線の整備状況をお聞きます。また、生活道路及び通学路において地域住民から改善の要望が出ている市道（境）3140号線の整備計画をお伺いします。

答弁 市道（境）2級24号線の整備状況ですが、この路線は東毛広域幹線道路と主要地方道伊勢崎・深谷線を南北に結ぶ重要なアクセス道路です。現在、本路線を横切る東武伊勢崎線の踏切道拡幅改良工事について、東武鉄道側と施行協定締結に向けて協議を進めています。今後は、早期に事業効果が上がると、本路線の整備を推進し、平成27年度の完成を目指したいと考えてい



東毛広域幹線道路周辺の道路の早期整備を

ます。

次に、市道（境）3140号線の整備計画ですが、この路線は、現在整備中

歯科保健指導を計画的、体系的に実施しており、歯、口腔の健康は、保持、増進が図られていると考えています。
次に、フッ化物洗口が効果的なむし歯予防法の一つであると言われていますが、他方では、問題も指摘されているところですが。今後も厚生労働省の見解をもとに伊勢崎歯科医師会の指導を仰ぎながら実施していくとともに、保護者には適切な情報提供をしていきたいと考えています。また、学校における集団フッ化物洗口の実施に当たっての課題は多くあり、慎重に判断していく必要があると考えています。

その他の質問

・平成26年度予算編成方針について



フッ素に対する適切な情報提供を

・ゆるキャラについて
・伊勢崎市養護老人ホームについて
・教育行政について

の市道（境）2級24号線の北側に残る未整備区間を通り、県道伊勢崎・新田上江田線に至る延長約900メートルの道路です。この路線周辺には、文教施設があり、その通学路に変則的で狭い交差点があることなどから、平成25年8月には地元区長などから拡幅等の整備を求める陳情書が提出されています。しかし、この路線の整備は事業延長が長く、多額の財源が必要となることから、現在施工中の市道（境）2級24号線の整備効果を見た上で、段階的に検討していきたいと考えています。

その他の質問

・災害時の対応について
・町内会議所の建設支援について

市民意識調査結果と市町村合併の検証について

政経クラブ

藤 見 勤

質問 本市は、平成17年1月1日に合併し、9年が過ぎようとしています。市民意識調査で791人の意見が回収されましたが、その意見を基本に今後施策を検討するのかが市の考えをお聞かせします。また、各調査項目において変化が少ない、少し低下した等の回答をした人が50%を超えており、この50%を下げるのが伊勢崎市の発展につながると思います。今後の対応について伺います。

てお伺いします。

次に、市町村合併の検証において、本庁職員を259人増員し、支所職員を150人削減した理由、また、支所職員削減による業務への影響及び支所機能への支障の有無をお聞かせします。さらに、支所機能と役割についても伺います。

答弁 市民意識調査については、アンケートにお答えいただいた皆様の意見は大事にしていきたいと思えます。このアンケート結果だけを頼りにするのはなく、各行政区の区長を初め、多くの皆様の御意見を伺い、また、御要望を吸収する努力をしながら、多くの皆様に満足いただけるような事業をしていくことが基本だと考えています。

す。また、各調査項目において変化がないこと、つまり現状維持しているということは、自治体を取り巻く環境が危機的に厳しくなる中で、市民サービス等が確保されているということであり、必ずしも悪い結果ではないと考えています。

支所に関しては、業務の集積を進めた結果、人員の削減が図られたものです。なお、来年度から各支所における相談業務等に対応する職員の配置についての検討を始めています。また、支所は各種届出書類の受付窓口としての役割、さらには地域づくりの拠点施設としての役割を担っている重要な場所であると考えています。また、支所に対する道路関係の予算づけ等について



支所機能の充実を

でも、現在の予算体系を維持した上で、緊急度、必要度に応じた均衡ある運用に努めていきたいと考えています。

B級グルメについて

伊勢崎クラブ

田 島 勉

質問 テレビ、新聞、雑誌等でB級グルメを取り扱う機会が多くなっています。昔からご当地で食べられていたものが食文化の変化により消えていたり、現在も特定の地域で変わらず食べられていたり、食の考え方が変わってきたと思います。平成25年6月の一般質問で農産物について伺いましたが、指定産地となっている野菜や畜産物がある一方で、指定産地以外の需要

の掘り起こしが可能な農産物を世に送り出す動きも出ており、本市もそれに応援すると答弁をいただいています。B級グルメもそういった動きに反応してか、世に出つつあります。

そこで、本年10月27日に行われた、いせさきもんじやまつりと、新・伊勢崎グルメ大集合について、地元商店中心で行われたと聞いていますが、支援と開催の状況及び今後の取り組みについて伺います。



いせさきもんじやと新・伊勢崎グルメ大集合

イベントの内容は、会場をもんじやエリアほか4つのエリアに分けて設営し、伊勢崎佐波地域を中心にした71店舗が

大集合しました。またグルメのほかに、お子様向けの射的やふわふわ遊具、特設ステージではキッズダンスや県内ご当地キャラクターイベント等を行い、1万人を上回る人出があり大変盛況なイベントとなりました。

次に、今後の取り組みですが、来年度以降についても、開催に向けて実行委員会と開催時期や内容を協議するとともに、会場となるオートレース場においては西側スペースを拡大する方向で東京都競馬株式会社等と調整をしていきたいと考えています。

その他の質問

- ・農業政策について
- ・ソーラー発電事業について

脳脊髄液減少症について

公明党

阿久津 尚子

質問 脳脊髄液減少症とは、脳と脊髄の周りを満たしている脳脊髄液が、交通事故やスポーツ、転倒などによる衝撃によって体内に漏れ出し、思考力の低下、倦怠感などの症状を引き起こすものです。この病気は、見た目には健康に見えるため、医療従事者や周囲から理解されないことが多く、精神疾患などと判断されることがあるそうです。

そこで、学校の校内外における、部活動等の傷害の現状についてお聞きします。また、脳脊髄液減少症を正しく理解するため、教職員への啓発や研修会が必要と考えますが、取り組みの状況についてお聞きします。

次に、治療方法としてブラッドパッチ療法が有効と聞きますが、市民病院における現状についてお伺いします。

答弁 市内の中学校、中等教育学校、市立高等学校における、昨年度の部活動中に発生した傷害のうち、医療機関等を利用した件数は333件で、そのうち、脳脊髄液減少症の報告はありませんでした。本年度も、現在まで報告はありません。

次に、啓発については、昨年10月、

県教育委員会から、学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について通知があり、全職員への周知を行いました。また、定例校長会議においても、落ち着いた学校生活や安全な部活動が実施できるよう、各校で具体的な対策を講ずるよう指示したところです。研修会については、本年7月、県教育委員会が主催した研修会に脳脊髄液減少症の講義があり、市内の教職員11人が参加しています。今後も、教職員等の脳脊髄液減少症に関する理解を深め、適切な対応が図れるよう努めていきたいと考えています。

次に、市民病院におけるブラッドパッチ療法の現状ですが、この治療は、

赤堀中学校の移転先における周辺道路整備について

伊勢崎クラブ

鈴木 良尚

質問 移転、新築が計画されている赤堀中学校は、平成27年4月開校予定となりました。平成25年6月の一般質問において、通学路における周辺道路整備について伺いましたが、その後の整備状況をお聞かせします。

また、国道50号線沿いの歩道や交差点等及び周辺道路において整備が必要と思われる箇所が多数あると考えられますが、今後の周辺道路における整備

計画の内容についてお伺いします。

次に、今後の安全対策として、学校保護者において十分な協議、検討が必要と思われませんが、通学路安全対策協議会についてお伺いします。

答弁 移転先における周辺道路の整備状況ですが、平成25年4月、5月にかけて実施した通学路安全点検において、赤堀地区から58カ所の改善要望書が提出されました。関係機関で現地調査を行い、その対応を通学路安全対策協議会で検討した結果、改善済み32カ所、改善予定16カ所、長期的な検討が必要なものが10カ所です。

次に、整備計画ですが、現時点でも国道50号線の横断は、特に心配されていることから、国土交通省に対し、歩



赤堀中学校建築予想図

道の整備や交差点での滞留場所の設置等、安全対策を要望した結果、改善を検討するとの回答をいただいています。

その他の質問

- ・雑誌スポンサー制度の導入について
- ・地域の活性化について
- ・いじめ防止について

保険適用外の治療法で、診断、治療には経験豊富な医師の判断が必要であり、国内でも専門的な治療を行う医師が少なく、現在、国において診断や治療法の確立を目指して研究が進められている状況です。市民病院では、脳脊髄液減少症が疑われる場合は、専門の医師がいる医療機関へ紹介しており、これまで4人の方を紹介した実績があります。今後も、詳細な問診や検査などを行い、適切な医療を提供できるよう努めていきたいと考えています。

その他の質問

- ・高齢者の社会参画について
- ・北関東自動車道を活用した産業振興について
- ・小学校における英語教育と小中学校のトイレ改修について

地域包括ケアシステムについて

政経クラブ
三好 直明

質問 高齢化の進行において、現在、日本は世界の先頭を走っています。65歳以上の人口は、現在3000万人を超え、2042年の約3900万人でピークを迎え、75歳以上の人口は以後も増加し続けることが予想されています。そんな状況の中、厚生労働省は団塊の世代約800万人が75歳以上となる2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築を推進しています。これ

は、住み慣れた地域で最後まで自分らしい暮らしを続けられるようおむね中学校区を一つの単位地域として地域の中で問題を発見し、その解決方法を共に考え、試し、実践していくというシステムだと理解をしています。

そこで、この地域包括ケアシステムの意義についてお聞きします。また、地域包括ケアシステムのかなめである地域ケア会議の実施状況及び課題についてお伺いします。

答弁 地域包括ケアシステムについては、本市でも、2025年に向けて、第6期介護保険事業計画の策定に当たり、既存のサービスの拡充と、市民が主体的に活動に参加する地域活動の育成、支援をさらに進め、現在の地域、

介護、医療との連携を基にしたネットワークの強化を推進しています。

次に、本市の地域ケア会議として、個別課題の解決、支援体制の構築を目的に、個別レベル地域ケア会議をサード・ビジネス所及び民生・児童委員を初めに必要に応じて医療機関の相談員や医師との協働で昨年度は7回実施しました。今の段階では高齢者の暮らしを支えるための関係者等が、生活や疾病などに関する情報共有ができていないのが現状です。

次に、地域包括ケアシステムを機能させるためには、地域支援事業の先を見据え、内容の見直しや検討が必要であると考えています。また、介護保険外のサービスの活用が今後重視される

ごみ焼却施設について

伊勢崎クラブ
新井 智

質問 清掃リサイクルセンター21は、稼働から13年が経過し、数年後には、現在の処理能力を維持することが困難になるとの見通しから寿命を10年延ばすため、平成26年度から3年をかけて大規模改修を計画しているとお聞きしました。そこで、清掃リサイクルセンター21の現状及び大規模改修の概要についてお聞きします。

次に、ごみ焼却施設の改修は、新設

に比べ費用を安く抑えられるなどの点があるものの、延命期間は10年から15年程度であり、より長期的なコスト削減や複数の市町村による広域処理を進めるため、新設を決めた自治体が見受けられます。そこで、将来的な広域処理の考えをお聞きします。また、家庭ごみの有料化についてお伺いします。



ごみ焼却施設の今後の考えは

計画を策定し、この計画に基づいて来年度から3カ年にわたり基幹的設備改良工事を実施する予定です。通算で30

年以上の稼働が可能となるよう大規模改修を行うもので、改修期間中でも焼却処理が滞ることがないように実施していきます。

次に、本年度、前橋市、桐生市及び本市の3市による清掃施設整備に関する意見交換会を開催し、ほぼ同時期に実施する延命化について情報交換を行いました。今後も継続的に開催し、意見交換をする中で、広域処理についても検討していきたいと考えています。

また、家庭ごみの有料化については、ごみの量が近年減少傾向にあるため、今のところ考えていません。

その他の質問

・橋梁の老朽化対策について

生活の質の向上と医療費の適正化について

伊勢崎クラブ
大和 勲

質問 藤岡市の高齢者の健康維持を目的とした鬼石モデル筋力トレーニングは、本年2月15日現在、市内75カ所で行われ、登録者数は約2300名に上るそうです。2年間以上トレーニングを続けている75歳以上の住民は、未経験者に比べて年間医療費が平均で約6万1000円抑制できたとのことです。そこで、本市のはつらつ健康教室の内容に鬼石モデルを取り入れる考え

と開催会場を増やす考えをお伺いします。また、中之条町では、希望する住民に歩数や運動状況を計測する活動量計を貸し出し、月に1度、参加者に対し町の保健師らが解説付きで分析結果を渡しています。1カ月分の医療費を比較すると、40歳から65歳で使用している方は、使用していない方より約1万8000円抑制できたようです。そこで、活動量計の導入をお聞きします。

次に、本年3月の一般質問の答弁で、平成26年度から40歳から64歳までの方の特定健康診査を個別健診にできるよう検討課題を調整したいとのことでしたが、その後の経過をお伺いします。



個別健診の導入は

は対象者個人へ通知する予定です。

その他の質問

・農業政策について

華蔵寺公園遊園地について

伊勢崎クラブ
新藤 靖

質問 華蔵寺公園遊園地は、市民の方はもちろん、市外、県外の方にも知名度が高く、人気があり、伊勢崎市の顔と言っても過言ではない有名な施設です。先月、華蔵寺公園遊園地を訪れた際、お昼の時間帯にもかかわらず遊園地内の売店で飲食をしている方はあまり見受けられませんでした。これは寒かったこともありですが、売店のメニューが軽食に限られており、ごはん

類や麺類等の主食となるような食べ物がないからではないでしょうか。そこで、売店の充実の考えをお聞きします。



導入が予定される183系車両

次に、以前の一般質問において、SL跡地に導入する予定の特急あさまは、外観を楽しむだけでなく、休憩施設としても活用していきたいと御答弁いただきました。市民の方も新しい車両がくるのを楽しみに待ち望んでいると思います。そこで、跡地利用の進捗状況及び導入車両をお披露目する際のイベントの計画についてお聞きします。

答弁 売店は、有限会社大村フードサービスが使用しており、使用料は売上額の5%で、昨年度の売店使用料は228万4122円が納入されています。売店のメニュー内容は、利用する

皆様の御要望があれば、検討した上で要請していきたいと考えています。

その他の質問

・乳幼児突然死症候群（SIDS）について

・伊勢崎シティマラソンについて

学童野球専用球場について

政経クラブ
山 越 清 彦

【質問】 今年の春は、上武大学野球部から始まり、夏の甲子園で前橋育英高校の活躍などがあり、国民的スポーツである野球で群馬県に注目が集まりました。現在、土日などの小学校校庭や公園等では学童野球の練習が盛んに行われています。しかしながら、本市には学童野球専用球場がありません。関係者の皆様からは、学童野球専用球場を設置してほしいとの声が継続してあ

ります。学童野球専用球場を新設することにより大人の野球チームやソフトボールチーム等の方々の球場利用の機会を増やすこともできます。

【答弁】 市野球場、ソフトボール場、第2グラウンド、補助競技場の大会等の使用は、各競技団体等に事前調査を行い、その後、各競技団体による調整会議で日程を決定しています。昨年度の各施設土日、祝日の利用件数と、その内学童の利用件数ですが、市野球場の利用件数は72件、学童の利用は18件、利用率は25％です。ソフトボール場の利用件数は63件、学童の利用は20件、利用率は31・7％です。第2グラウ

ンドの利用件数は56件、学童の利用は16件、利用率は28・6％です。補助競技場の利用件数は52件、学童の利用は12件、利用率は23・1％です。4施設の合計の利用件数は243件、学童の利用は66件、利用率は27・2％です。市営体育施設で野球のできる17施設の昨年度の土日、祝日の利用件数は2134件、学童の利用は542件、利用率は25・4％です。

次に、子供たちが元気にプレーできる環境づくりは市として担うべき役割だと考えています。本市で野球ができる施設は、29施設で37カ所あり、こうした施設を有効活用していただくことでお願いをし、施設の新設等は、今後の研究課題としたいと考えています。



学童野球専用球場の新設を

その他の質問

・障害者雇用支援について
・伊勢崎駅前民間開発事業について

うつ病対策について

公明党
手 島 良 市

【質問】 厚生労働省が3年ごとに全国の医療機関に対して行っている患者調査では、うつ病等気分障害の患者数は、平成8年の43万3000人から平成20年には104万1000人と12年間で2・4倍に増加しました。うつ病患者の医療機関への受診率は低いことから、実際にはこれより多くの患者がいることが推測されます。

そこで、本市におけるうつ病対策の

現状をお聞きます。

次に、再発予防の効果が高く、患者が本来持っている心の力を育てる認知行動療法についての情報提供及び講演会を積極的に行うべきと考えますが市長の見解をお聞きます。

次に、沖縄県立総合精神保健福祉センターでは、全国で初めて慢性のうつ病患者を対象として認知行動療法を中心にしたデイケア事業を実施した結果、参加者の約9割の症状が改善し、就労率も大きく改善が図られ、目覚ましい成果を上げています。このように、特に慢性化したうつ病に対して、効果を見せているうつ病デイケアを本市でも実施すべきと考えますが市長の見解をお伺いします。

【答弁】 うつ病対策の現状について

は、本市は、講演会や出前講座、市の広報紙やホームページへの掲載、イベントや各種健診を通して、こころの健康やうつ病についての知識の普及啓発や各種相談窓口の周知を図っています。また、保健師による電話相談や窓口相談、家庭訪問等も行っており、身近で相談しやすい体制づくりに努めています。また、県立精神医療センターの協力を得て精神科医師によるこころの健康相談を各保健センターで月2回行っており、相談結果により医療機関への受診を勧めています。

次に、人の気分や行動などが、認知の影響を受けることから、認知の偏りを修正し、問題解決を手助けする精神

3年生32学級、4年生31学級、5年生32学級、6年生31学級、合計126学級で、全436学級のうちに占める割合は28・9％です。36人以上の学級は、5年生14学級、6年生10学級、合計24学級で、5・5％です。中学校では、特別支援学級を除いた全174学級のうち、31人以上35人以下の学級が1年生52学級、2年生18学級、3年生10学級、合計80学級で、全174学級のうちに占める割合は46・0％です。36人以上の学級は、2年生38学級、3年生41学級、合計79学級で、45・4％です。

不登校と30人学級について

日本共産党議員団
長谷田 公子

【質問】 多くの多様な子供を一度に教育するよりは、少人数学級で一人ひとりの子供にしっかりとかわり育てることの方が、先生方だけでなく子供や保護者にとっても有益であることは明らかです。群馬県としても小学1・2年生は30人以下学級、小学3・4年生と中学1年生は35人以下学級にするなど、部分的にはありますが少人数学級を取り入れてきています。そこで、多人

数学級の実態として、学級規模別学級数とその割合をお伺いします。

また、本市では、市独自に四ツ葉学園及び市立高校を30人学級としていますが、導入の理由と成果についてお聞きます。

さらに、不登校が多く出る中で、市独自に30人学級を拡大することが求められていると考えます。一挙に30人学級とはいかなくても、一人の先生を配置することで35人以下学級が実現されるのであれば、少人数授業より少人数学級をとという声を実現していく考えはあるのか、市の考えをお聞きます。

【答弁】 本年5月1日現在、小学校では、特別支援学級を除いた全436学級のうち、31人以上35人以下の学級が

職員の基本姿勢について

明日のいせさき
多 田 稔

【質問】 市役所の役割は、社会福祉の向上のために市民へ行政サービスを提供することであり、職員は市民の立場に立った対応が大事です。市役所で働く職員の皆さんがプロとして誇りを持って働き、すばらしい成果を上げ、住民からは信頼される。私はそんな世界を夢見ています。

今、伊勢崎市ではこの一番大事な基本が、残念ながら組織全体で共有され

ていないと思います。メールの問い合わせに對し、きちんと翌日に回答を返す課もあります。また、バス停の時刻表が剥がれたときには、すぐに気づいて復旧しました。このようにしっかりと対応もある一方で、市民の立場に立った配慮が欠けているケースも多々見受けられます。市民の立場からしますと、適切な対応は当たり前と受け取りますが、近ごろ感じられる市役所の組織文化としては、職員が市民へ接する態度、仕事の基本姿勢に根本的な問題があると感じました。

よりよい伊勢崎市役所にしていただくため、市長の御所見と今後の対応をお伺いします。

【答弁】 今、伊勢崎市は、平成17年1



職員の基本姿勢は

月の合併以来、定員適正化計画に基づき10年間で200人の職員を削減するというところで進めています。現在、8

した。その成果は、子供の実態把握をよりの確に行えるとともに、個に応じたきめ細かな指導により、基礎的、基本的な学習内容や基本的な生活習慣の定着が図られ、一人ひとりの学力が確実に向上していると考えています。

次に、30人学級を全小中学校に拡大する考えは、本市の小中学校の学級編制は、県教育委員会の定めた基準に基づいて行っており、今後とも、国及び県の定数改善の施策に従って、適切に対応していきたいと考えています。

その他の質問

・ひきこもりの実態把握と対応について
・地域経済の振興について

年目を迎えていますが、約170人近い職員を削減しています。その削減内容ですが、市民病院の医師、看護師、医療職員及び消防職員等の緊急の職員については、削減はせず、増員をしています。

その他の質問

・学校給食調理場について

平成25年第5回定例会提出議案等の審議結果

市長提出議案

番 号	件 名	付託先	期 日	結 果
第128号	伊勢崎市市税条例の一部を改正する条例案	総 務	12.17	可決（全会一致）
第129号	伊勢崎市立学校施設使用条例等の一部を改正する条例案	総 務	12.17	可決（賛成多数）
第130号	伊勢崎市立学校設置条例等の一部を改正する等の条例案	文教福祉	12.17	可決（全会一致）
第131号	伊勢崎市社会教育委員条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.17	可決（全会一致）
第132号	伊勢崎市地域交流センター赤石楽舎条例案	文教福祉	12.17	可決（全会一致）
第133号	伊勢崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	経済市民	12.17	可決（全会一致）
第134号	伊勢崎市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案	経済市民	12.17	可決（全会一致）
第135号	伊勢崎市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.17	可決（全会一致）
第136号	伊勢崎市営住宅管理条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.17	可決（全会一致）
第137号	伊勢崎市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.17	可決（全会一致）
第138号	伊勢崎市公共下水道事業区域外流入分担金に関する条例案	建設水道	12.17	可決（全会一致）
第139号	伊勢崎市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.17	可決（全会一致）
第140号	伊勢崎都市計画事業中央土地区画整理事業施行規程を廃止する条例案	建設水道	12.17	可決（全会一致）
第141号	平成25年度伊勢崎市一般会計補正予算（第3号）	総 務	12.17	可決（全会一致）
第142号	平成25年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計補正予算(第2号)	文教福祉	12.17	可決（全会一致）
第143号	平成25年度伊勢崎市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	経済市民	12.17	可決（全会一致）
第144号	平成25年度伊勢崎市介護保険特別会計補正予算（第2号）	経済市民	12.17	可決（全会一致）
第145号	平成25年度伊勢崎市下水道事業費特別会計補正予算（第2号）	建設水道	12.17	可決（全会一致）
第146号	平成25年度伊勢崎市農業集落排水事業費特別会計補正予算(第2号)	建設水道	12.17	可決（全会一致）
第147号	平成25年度伊勢崎市水道事業会計補正予算（第1号）	建設水道	12.17	可決（全会一致）
第148号	平成25年度伊勢崎市病院事業会計補正予算（第2号）	文教福祉	12.17	可決（全会一致）
第149号	平成25年度伊勢崎市介護老人保健施設事業会計補正予算（第1号）	文教福祉	12.17	可決（全会一致）
第150号	伊勢崎市土地開発公社の解散について	総 務	12.17	可決（全会一致）
第151号	赤堀中学校校舎・体育館建設工事請負契約の締結について	文教福祉	12.17	可決（全会一致）
第152号	赤堀中学校校舎・体育館建設電気設備工事請負契約の締結について	文教福祉	12.17	可決（全会一致）
第153号	公の施設の指定管理者の指定について	文教福祉	12.17	可決（全会一致）
第154号	市道路線の廃止について	建設水道	12.17	可決（全会一致）
第155号	市道路線の認定について	建設水道	12.17	可決（全会一致）

報 告

番 号	件 名	期 日	結 果
第17号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.29	報 告
第18号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.29	報 告
第19号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.29	報 告
第20号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.29	報 告
第21号	市営住宅の管理上必要な訴え（和解を含む）の提起についての専決処分の報告について	11.29	報 告

請 願

番 号	件 名	送 付 先	結 果
第1号	年金2.5%削減の中止を求める意見書の請願	経済市民	継続審査
第3号	最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書提出についての請願	経済市民	継続審査
第4号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	総 務	審査未了
第5号	「全国一斉学力テスト」学校別結果公表反対を求める請願	文教福祉	不 採 択

陳 情

番 号	件 名	送 付 先
第4号	2014年度地方財政の確立に関する陳情	総 務
第5号－1	中心市街地活性化対策の推進についての陳情	総 務
第5号－2	中心市街地活性化対策の推進についての陳情	建設水道
第6号	「全国一斉学力テスト」学校別結果公表反対を求める陳情	文教福祉
第7号	小口資金融資制度の改善についての陳情	経済市民
第8号－1	製造業等の環境設備対策への支援についての陳情	経済市民
第8号－2	製造業等の環境設備対策への支援についての陳情	建設水道

常任委員会審査

11月29日の本会議で委員会付託された議案について、各常任委員会における審査経過及び結果概要は次のとおりです。

総務委員会

伊勢崎市立学校施設使用条例等の一部を改正する条例案については、審査において、使用料変更の周知の時期及び方法について質疑があり、これに対し、条例公布後にホームページにおいて周知した後、広報1月16日号において周知する予定であるとの答弁がありました。

次に、平成25年度伊勢崎市一般会計補正予算（第3号）については、審査において、予防接種委託料の増額理由について質疑があり、これに対し、特にインフルエンザ、ヒブ、小児用肺炎球菌の接種者の増加が見込まれるためであるとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された4議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

文教福祉委員会

伊勢崎市地域交流センター赤石楽舎条例案については、審査において、使用料の減免について質疑があり、これに対し、今後策定予定の施行規則の中に減免基準を設け、設置目的に合った利用については減免する予定であるとの答弁がありました。

次に、公の施設の指定管理者の指定

については、審査において、定員の50人を上回る入所希望者への対応について質疑があり、これに対し、新たに予定されている指定管理者が、同法人が運営する別施設等において対応する予定であるとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された9議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

経済市民委員会

伊勢崎市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案については、審査において、延滞金利率の改正内容について質疑があり、これに対し、これまでの年14・6％から9・3％に、納期限から1カ月以内の延滞金については、特例基準割合により年4・3％から3％にそれぞれ引き下げられるものであるとの答弁がありました。

次に、平成25年度伊勢崎市介護保険特別会計補正予算（第2号）については、審査において、居宅介護サービス給付費の増額理由について質疑があり、これに対し、居宅介護サービス施設が平成24年10月1日現在の376施設から平成25年10月1日現在404施設となり、28施設増えたためであるとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された4議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

建設水道委員会

伊勢崎市営住宅管理条例の一部を改正する条例案については、審査において、対象となる住戸数について質疑が

あり、これに対し、iタワー花の森住宅の特定公共賃貸住宅5戸であるとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された11議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

特別委員会調査

少子高齢化対策特別委員会

12月17日に少子高齢化対策特別委員会が開かれ、要保護児童対策について調査を行いました。

東毛広域幹線道路等整備対策特別委員会

12月17日に東毛広域幹線道路等整備対策特別委員会が開かれ、東毛広域幹線道路の進捗状況について及び伊勢崎宮郷工業団地周辺の道路整備事業について調査を行いました。

平成25年度 各会計補正予算

(単位：千円)			
区 分	補正前の予算額	補 正 額	計
一般会計（第3号）	71,199,000	457,660	71,656,660
特 別 会 計 等	学校給食センター事業費(第2号)	3,669	1,808,053
	国民健康保険(第2号)	73,580	21,567,380
	介護保険(第2号)	134,726	13,945,109
	下水道事業費(第2号)	188,000	3,276,169
	水道事業(第1号)	△ 2,331	5,614,358
	病院事業(第2号)	△ 3,492	16,006,287
	介護老人保健施設事業(第1号)	△ 447	273,463

※水道事業、病院事業、介護老人保健施設事業の予算額は、支出予定額（収益的・資本的支出の合計）を掲載しています。